

「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」出展のお知らせ

～ルールになんて乗るな 自由につながれ～

株式会社東陽は2024年7月4日(木)～7月6日(土)の3日間、Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)で開催されるROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024に出展いたします。

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024



<株東陽展示会テーマ>

<展示ブース 番号:E23>



弊社ブースでは、人手不足や製造現場での課題解決策として様々な自動化設備を提案します。展示会場では「自動搬送ゾーン」「省人化ゾーン」と2つのエリアに分け最新のロボットシステムを展示します。

- ・自動搬送ゾーンでは武蔵精密工業株の多彩な機種と走行方式が選択できるAGV・AMR。アマノ株のAIによるヒトとモノを正確に判断し、高度な自律走行可能な床洗浄機HAPIIBOTを展示。
- ・省人化ゾーンでは協働ロボットを活用した、AI画像処理、バラ積みピッキングシステム他、作業効率改善ソフトウェア、ロボットハンドとして製作できる3Dプリンターなど幅広い商材を取り揃えています。

「ルールになんて乗るな 自由につながれ」自由な発想で皆様のモノづくりに貢献したい思いでこのテーマを掲げさせていただきました。ぜひ弊社ブースまでお越しください。(ホールE・Sierゾーン・E23)

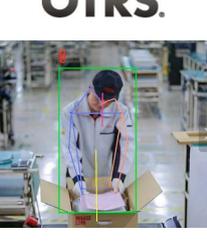
◆ ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024 開催概要 ◆

| | |
|-----|---|
| 名称 | 産業用ロボット・自動化システムの専門展 ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024(RTJ2024) |
| 会場 | Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場) ※株東陽ブース：ホールE・Sierゾーン・E23 |
| 会期 | 7月4日(木)・5日(金) 10:00～17:00 ・7月6日(土)10:00～16:00 3日間 |
| 主催 | 株式会社ニュースダイジェスト社 |
| URL | http://robot-technology.jp/ |
| 入場料 | 入場登録者及び招待状持参者と学生は無料 ※大人1人1,000円 |

「自動搬送ゾーン」

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p>アマノ(株)</p> <p>HAPIIBOT(小型床洗浄ロボット)</p> |  | <p>武蔵精密工業(株)</p> <p>S-CART(無人搬送台車)</p> |  |
| <ul style="list-style-type: none"> AIによる高度な自律走行 唯一の国内開発 国内生産 国内トップクラスの洗浄能力 | | <ul style="list-style-type: none"> 幅広い用途と可搬重量機種が豊富 メンテナンス性の高い車体構造 選べる制御形態・新JIS,欧州規格準拠 | |

「省人化ゾーン」

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>(株)デンソーウェーブ</p> <p>3Dビジョンバラ積みピッキング</p> |  | <p>日東精工(株)</p> <p>協働ロボット用ねじ締めユニット</p> |  |
| <ul style="list-style-type: none"> 高速人協働ロボット Mech-Eye Proの高性能ビジョン QR位置補正機能 | | <ul style="list-style-type: none"> 5Kg可搬多関節ロボットへ搭載可能 テックマン社協働ロボットを使用 使用電力減少によりCO2削減に貢献 | <p>既存製品 FM513v2 と比較して 約30%軽量化</p> |
| <p>(株)HACARUS</p> <p>独自AIソフト外観検査システム</p> |  | <p>マッスル(株)</p> <p>ドライバー・コントローラ内臓シリンダー</p> |  |
| <p>(株)グーテンベル</p> <p>3Dプリンター (G-ZERO)</p> |  | <p>東京エレクトロンデバイス(株)</p> <p>工程管理プラットフォーム (TriMath)</p> |  |
| <p>MUSASHI AI(株)</p> <p>AI外観検査機</p> |  | <p>EPSON販売(株)</p> <p>省スペースでの複合自動組付け機</p> |  |
| <p>(株)ブロードリーフ</p> <p>作業分析ソフトウェア</p> |  | <p>(株)FA.Regalo</p> <p>自動搬送装置システム制御</p> |  |
| <ul style="list-style-type: none"> 現場の作業カイゼンをサポート 動作のムリ,ムラ,ムダを見える化 現場の作業標準化 | | <ul style="list-style-type: none"> 工程分析、システム企画構想 本質的なDXの推進を支援 制御コントロールシステムWCS実現 | |

*展示会では出展内容が異なる場合もありますのでご了承ください。